

令和3年度事業計画書

【2021年4月1日～2022年3月31日】

【基本方針】

特定非営利活動法人としての存在を明確化し、情報交換を積極的に行って協調体制を強化するとともに、食による地域活性化、社会貢献を再認識し組織体制の再構築を図る。

昨年度に続きコロナ禍の影響を受け、触れあい活動の自粛を余儀なくされ、古民家サロンプロジェクトも予定が大幅にずれ込んでしまっているが、このような飲食事業が苦しい時こそ、NPOとして出来ることをしっかりと考え、飲食店の支援や、コロナ禍における個食・孤食・子食に対する調査・対処を行って行きたい。

また、昨年度からの懸案であった「食のオンラインサロン計画」を、実験的に展開することにした。各界からも問合せが多く、期待されている事業なので、コロナ禍の影響も鑑みながら、各団体とも連携の上、取り組んで行きたい。

【事業の再認識】

- ① 各プロジェクトにおいて、地域（総合学習センターなど）との連携を進め、ボランティアに関心を持っていないユース世代も対象に広めていく。
- ② 地域、他団体との関係作りを強化し、中間支援団体として双方のニーズを汲み取った活動を展開する。（受け入れ団体のニーズや、ラボの理念の理解を相互に得ていく）
- ③ 調査研究を通して、ラボの理念、事業の捉えなおし、各事業の方向性、課題を明確化する。

＜そば打ち事業＞

昨年に続き、子ども子育てプラザや老人憩いの家でのイベント開催は不可能となり、古民家と西区での「三密を回避した上でのプライベートそば打ち教室」となる。くれぐれも衛生面を考慮して、安心安全を徹底して行う。

<薬膳カフェ事業>

昨年、本格的スタートを迎えたのだが、本年度も、規模や回数を抑えての運営にならざるをえない状況。くれぐれも衛生面に細心の注意を払うことをお願いしたい。

<オンラインサロン事業>

昨年度から進めている事業だが、コロナの影響もあり、期待度が高い。今後ラボの基幹事業になる可能性もある分野だけに、慎重にしっかりと進めて行きたい。連携をお願いする団体や企業との信頼関係も、成功への大きな要因となるので、ここだけは「密」な関係をお願いしたい。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
① そば打ち文化事業	全麵協との連携をとり、衛生対策を行う。 衛生についてのアンケート調査 リモート全国そば打ちイベント	行政の指導に則って開催	各区子ども子育てプラザ	8人 18人	一般60人 一般100人	100
② オンラインサロン事業	旬の食材を使った滋養こころの栄養食卓・共食	通年	食の古民家さろん	4人	希望参加者約80人	200
③ 旬の食の普及啓発事業	味覚授業研修の開催	年4回	食の古民家さろん	2人	希望参加者約100人	1200
	ホームページ管理運営	随時	ラボ事務所	3人	不特定多数	

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支出見込額(千円)
① コラボカフェ事業	旬の食材を使った滋養こころの栄養食卓・共食	通年	食の古民家さろん	4人	1000
② そば打ちビデオ撮影事業	そば打ちビデオのオリジナル撮影	随時	指定場所	2人	150